

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 九州おぎはら産業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、ISO,HACCPの取組みに沿って社内に掲示し共有している。 ・従業員は自らの役割を理解し目標を理解しやりがいを感じている。										8	9								17					
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・ISO,HACCPの取組みに沿って法令遵守を宣言し社内に掲示を行っている。 ・チームを編成し日々チェック、管理をおこなっている。 ・コンプライアンスの外部顧問にいつでも相談出来る体制をとっている。																		16						
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に対し重要性を日々発信している。														10					16					
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・ISO,HACCPの取組みのチームを編成し担当役員、従業員を配置し社会・環境に及ぼすチェックを行っている。																			16					
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産に関する研修やセミナーに参加し勉強会を行うことにより知的財産の保護に努めている。										8.2 8.3	9													
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報ほどに関する理解をし、専門の部署(担当役員)が管理を行い情報漏洩防止に努めている。																			16					
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・ISOの取組みに沿って利害関係者に関する理解をし、ステークホルダーの管理・把握を行いコミュニケーション強化を行っている。																		16	17					
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・取引先の活動に興味を持ち月に1度対面での会話の機会を設け環境への課題等を共有している。 ・取引先評価表を作成し管理を行っている。					5					8		10						12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●														9					11			13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・経営者セミナーへの参加等を行い、後継者の指導・育成に取り組んでいる。											8	9												17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●					1	2							8									12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において理解し、差別しない体制・運営を徹底している。 ・ハラスメント、コンプライアンスにおいて専門の相談窓口を置いている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3											16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・ISO、HACCPの取組みに準じてチェックを行っている。 ・SNSを利用しいつでも気軽に悩み事を発信、相談できる体制をとっている。			3						8.8															
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働、同一賃金の原則を理解し、従業員(正社員、パート社員)の公正な待遇を行っている。また、明確な評価制度を設け従業員に公表している。					5.5					8.5													10.2 10.3	
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・スケジュール、労働時間の管理徹底や業務の効率化を常に行い労働時間の短縮や働き方改革を行っている。 ・有給休暇取得などの奨励を行い学校行事、育児への積極参加を促している。			3		5.5					8.5 8.8		10.3												
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・ISOの取組みに沿ってスキル管理表を作成し研修を行っている。 ・管理職は外部講師による年間セミナーへの参加を行っている。					4	5.5				8	9													
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎日の健康観察実施を行っている ・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・外部コンプライアンス担当者へ気軽に相談できる体制をとっている。							3			8													17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格に人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。					4.4	5.1 5.5					8.5		10.2 10.3										16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・自宅待機でのテレワークの実施を行っている。 ・ウェブ会議、リモート商談等の実施を行っている。							3			8	9.1											11	12	
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・ネットを活用した受注システムを導入することにより留守番電話、FAXの聞き取りミス、エラー、の削減、確認の時間の削減、効率化を行っている。											8	9.1											11	12
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●													8	9												12

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 九州おぎはら産業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO、HACCPの取組みに沿って有害化学物質を把握し適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電力やガソリンなど自社エネルギーの使用量を把握し、走行コースの管理や、室内の温度管理をすることにより削減に取り組んでいる。							7.3							13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・社用車の燃料を集計する事により自社の温室効果ガスの排出量を算出し抑制に取り組んでいる。 ・社用車のGPS走行管理により走行距離短縮に努めCO ₂ 排出を抑制している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・【予定】紙トレイ、自動包装機を2022年12月までに導入することによりポリエチレントレーの使用を減らし環境に配慮する。						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・日々ゴミの計量を行い削減に取り組んでいる。 ・SNS、メールの利用によりペーパーレス化に取り組んでいる。 ・メモ用紙は裏紙を利用している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」、「汚水等の適切な処理」を実施している。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙利用を推進している。 ・環境にやさしいトレイの検索に取り組んでいる。											9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・生産者直売所等での、販売しにくい部位、肉加工時に発生する食肉は材を活用した商品開発を実施している。		1	2				6.4							12.3		14	15	17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●															11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5			14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4			11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13				17.2	

